

体育市民連帯 週刊ブリーフィング 金曜 179号 2019.6.14

今回のコラムは「週刊ブリーフィング」の改編作業で一週間お休みです。お許しいただければ幸いです。

01 ソウル新聞 2019. 6. 10**【 ミートゥー5年 やっと彼を教壇から追い出した 】**

国内スポーツ界初の「ミートゥー」(#Me Too 私も被害者だ) 暴露事件と関連し、加害者に指名された前大韓体操協会幹部 A氏が、自分が勤めていた高校から最近解任されました。被害者である李ギョンヒ (48) 体操国家代表常備軍コーチ側は「ミートゥー暴露 5年ぶりに行われた最初の懲戒」と明らかにしました。

9日教育界によると、A氏はソウル教育庁懲戒委員会の議決を経て、先月 21日に解任処分されました。先にソウル教育庁はA氏が体操協会副会長選任承認拒否をめぐって大韓体育会を相手に民事訴訟を提起しましたが、最終的に敗訴するや、判決内容を根拠としてA氏に対する懲戒手続きを踏んで懲戒委員会に重懲戒意見を出しました。当時、裁判所は「(承認拒否の根拠となった) 李さんのミートゥー内容が恥や刑事罰の危険性を甘受してまで存在していない被害事実を作ったと見るのは難しい」と判断しました。

A氏は別の不服手続きを提起しなければ今後3年間、公務員として働くことができなくなります。教育庁の関係者は、「A氏はすぐに定年退職を控えており、公務員職に戻ってくるのは容易ではないだろう」としながらも「不服がある場合、懲戒委の議決後 30日以内に訴請が可能であり、本人にも案内した」と説明しました。学校側は「後任の教師を既に決めた状態」と述べています。

李コーチの法律代理を務めたオ・ソンヒ弁護士は「刑事罰と人事上の懲戒は別個のものだが、被害者には象徴的なこと」とし、「脱北民として韓国でどんな縁故もない李コーチに「ミートゥー」以降のプロセスは苦しい戦いそのものだった」と言いました。

2014年新体操代表チーム常備軍コーチだった李さんは、大韓体育会に「2011年から3年間、体操協会の役員を務めたA氏から性的暴行を受けた」という内容の嘆願書を出しました。A氏は役職から退き、監査などの懲戒手続きも済ませて事件は一段落しました。

しかし、A氏が2016年体操協会副会長に内定され、再び問題が浮上しました。体育会は李さんの嘆願書などを根拠に選任承認を拒否しましたが、A氏は「李さんと恋人関係だった」と主張して民事訴訟を提起しました。李さんは昨年3月に放送を通じて被害事実を告発しました。最高裁は昨年12月、A氏の敗訴を確定しました。

しかし、A氏は刑事罰を受けませんでした。検察が過去の捜査で時効完了や証拠不十分などの理由で2017年11月、A氏を不起訴処分にしたからです。昨年5月には、裁定申請も却下されました。李コーチ側は「検察の捜査段階での人権侵害的要素があった証拠が補強された」と今年4月に常習強姦未遂と強制わいせつでA氏を再び訴えました。ミートゥー過程で「恋人関係」を主張したA氏の名誉毀損で告訴した件も、昨年7月に不起訴処分されましたが、抗告プロセスを介して、今年4月に回復捜査命令が下されました。オ弁護士は「名誉毀損捜査の場合、ミートゥー事件の被害者に「コッペムだ (訳注：花へび。金を目的に近づく女)」などの言葉を口にするのも罪になることを知らせる契機になるだろう」と言いました。

出典：<https://news.v.daum.net/v/20190610033619055>

02 スポーツ朝鮮 2019.6.10 【 チャン・ヒジン波紋 19 周年、学校スポーツ正常化のための実践的代案討論会、国会で開催 】

スポーツ先進国として生まれ変わるための方策について議論が国会で活発に開催されました。19年前、学校の授業を聞くために泰陵選手村を出て行って、国家代表資格を剥奪されたチャン・ヒジンの事例を記念して、二日間にわたって学生選手の学習権と大学入試制度の改善のための討論会が開かれました。国会教育希望フォーラムとスポーツ改革フォーラムが主催し、学校体育振興会が主管した「チャン・ヒジン代表選手波紋 19 周年記念国会行事」が 10 日午後 3 時、国会議員会館第 2 セミナー室で開催されました。このイベントを主導的に企画したアン・ミンソク（国会文化体育観光委員長）議員は、「スポーツ強国を超えてスポーツ先進国に」という主題の文章を入れた小冊子を介して、この日の討論会の重要な主題が最近発表したスポーツ革新委員会の勧告案を成功裏に定着させることに焦点が合わせられていることを知らせました。

この日の行事の 1 部では、「勉強する学生選手と指導者賞授賞式」が行われました。「勉強学生選手賞」は、原州女子中 2 年生の李ヒョンナ（陸上）と京畿道ヤンピョン中 3 年生ソン・ジョンホ（カヌー）、ソウル体中 3 年生の李ギョンジン（体操）忠南カンギョン女子中 3 年生の朴ヒョンジン（サッカー）に渡されました。続いて京畿道ボンイルチョン中の朴ユンテ（レスリング）コーチと釜山体高の全ジェウク（近代 5 種）、ソウル体中のシン・ジェグ（陸上）コーチに「スポーツ先進国の指導者賞」が授与されました。続いて 2 部で、この日の行事のメインである「体育特技者大学入試制度の改善のための実践的代案模索討論会」が開かれました。サムスン高校の金スングョム教頭が座長となったこの日の討論会は、4 つの主題で個々の問題提起がなされた後、5 人のパネリストがその主題に関する発言を続けました。以後、自由討論が行われました。

最初の発表者として立ったジョン・ジェヨン KBS スポーツ部長は「先進型体育特技者大学入試制度モデル」を提案しました。ジョン部長は「進学システムをどのように運用すれば善意の被害者が出ないかが重要である。進学問題を透明にすることができれば、現在議論が起きている学校体育改革勧告も実行のドライブがかかるようになるだろう。大学進学方式の透明化が長期的な成功の土台である」と「韓国型体育特技者資格検証センターの建立」を提案しました。

続いて出た李ヒョンホ ソウル体高教務部長兼学校体育振興会の体育人材育成委員会委員は、「学校運動部の価値再確立のための運営規定制定の必要性」について発表しました。この委員は、「種目別運営規定を実質的に制定し、高校大会の認証についての検討」を提案しました。

三番目の発題者として出たファン・スンヒョン慶北大教授は「大学体育特技者学士管理センター」を通じて、学生選手の最低学力の管理が可能という提案をしました。最後に金ジョンユン大韓サッカー協会大会運営室長は「体育特技者大学入試制度の改善政策提案」を通じて、週末リーグの大学入試反映拡大の必要性を力説しました。

問題提起の後には、ソン・グンヒョン教育大学政策課長とワン・ギョン文化体育観光部体育振興課長、ジョン・ヨンチョル西江大スポーツ心理学教授、金ヒョンジュン韓国大学教育協議会大学入学サポート室長、朴ジェヒョン体育会スポーツ公正委員会委員がスポーツ改善案に関する様々な討論テーマを発表しました。この日、最初から最後まで席について議論にも参加した文化体育観光部スポーツ革新委員のムン・ギョナン委員長は最後に「学生選手の学習権と自由を国家と大人たちが責任を持って保証して支援する

必要性は、みんな共感しているようだ。より良い方法を模索するために、集団知性の努力が必要だ」という言葉でこの日の討論会を終えました。

出所：

<http://sports.chosun.com/news/ntype.htm?id=201906100100066470004502&servicedate=20190610>

03 ニュース 1 2019. 6. 13

【 光州市「朴チウォン、水泳大会に北朝鮮の参加要請」に期待感増幅 】

民主平和党の朴チウォン議員が金ヨジョン朝鮮労働党第1副部長に来月12日から開催される2019光州世界水泳選手権大会に北側選手団の参加を要請し、その結果が期待されます。

朴チウォン議員は12日、板門閣で故李姫鎬女史の弔花と弔意文を受け、会った金ヨジョン部長に光州で開催される世界水泳選手権大会への北朝鮮選手団と応援団派遣を要請しました。これに金副部長が笑って「金ジョンウン委員長にお渡しする」と答えたと言いました。

先に朴議員は4日、自身のフェイスブックに掲載した「キム・ジョンウン委員長様」のタイトルの公開書簡式でも北側の選手団参加を要請しました。フェイスブック文には「単刀直入に、来る7月12日から開催される光州世界水泳選手権大会に北朝鮮選手団と応援団を参加させる決断を下していただく事を切に要請致します」とし「現在、光州世界水泳大会は、もし北朝鮮選手団と応援団が参加すれば大成功を保証します」と付託しました。それとともに開催地域について「光州です。金大中大統領の故郷です。決断を切に願います」と強調しました。

光州市は今回の世界水泳選手権大会が歴代最大規模の選手団の参加で行われることを期待しながらも、北朝鮮選手団が参加するかどうかを興行の成否の鍵と見ています。13日現在、2019光州世界水泳選手権大会には、196カ国から選手2612人、役員1649人、メディア1137人、国際水泳連盟(FINA)の関係者887人など6285人が参加申請をした状態です。

李ヨンソプ光州市長は12日、「世界水泳大会D-30日、大会の準備状況」の記者会見で「これまで政府、国際水泳連盟などをはじめ、様々な経路で北朝鮮の参加を提案してきた」とし「7月3日の試合エントリー締め切りまでに申し込みが可能なため、継続的に努力する」と言いました。

また「光州大会の旗は“平和の波の中で」とし、世界で唯一の分断国家で大会が開催されるだけに、北朝鮮が今回の大会を通じてスポーツが政治と理念の障壁を超えることができ、スポーツを通じて交流と疎通がすなわち平和だという事実を全世界に示すことを希望する」と強調しました。

ソース：<http://news1.kr/articles/?3644933>

出典：<https://www.seoul.co.kr/news/newsView.php?id=20190605026002>

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 1485-3 スンジョンビル 305号

체육시민연대 서울시 서초구 서초동 1485-3 승정빌딩 305호

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net

ホームページ：<http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com